

地域のお便り

ライトアップセレモニーが大成功!



5月12日の夜、浜松城が青くライトアップされたことをご存知ですか?

これは、以前から紹介しているME/CFS(筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群)の世界啓発デーに合わせた催しで、誤解や偏見の多いこの病気の正しい理解の周知を図り、もって患者さんへの適切な治療や支援へと結びつけることが目的。準備段階から行政や民間企業、学生などを巻き込み、また当日は150名を超える方にお越し頂いたことで、目的達成に向か、前進することができたと思います。

この成果をもとに、今後もさらなる活動を続けてまいります。

浜松初! アンブレラストリート

「人づくりが街づくりに繋がる!」

こんな思いを込めたイベントを、去る6月16日、砂山銀座サザンクロス商店街において、私も所属する浜松青年会議所が主催で行いました。当時は、テレビで有名な久保ひとみ様をはじめ、まちなかに携わるパネラーの方々から熱いお話を頂くとともに、天井を埋め尽くすアンブレラストリートのおかげで、多くのお客様やインスタユーザーの目を引くことができました。

事前準備には苦労しましたが、ちょっとした工夫で街の雰囲気は変わるものですね!! これからも、街の活性化に積極的に関わっていきたいと思います。



第16号の発行にあたり

暑い夏もいよいよ本格化。今年はサッカーW杯で日本代表の大活躍があり、多くの方が6月頃から熱く眠れない日々を送っていたと思いますが、みなさんいかがお過ごしですか?

私の今夏的一大イベントは、富士山を標高0メートルから登ることです。これまで過去3回、5合目からの登頂は経験していますが、今回は田子の浦港からなので、正真正銘の3776メートルへの挑戦! 世界遺産富士山を愛する静岡県民として、くれぐれも無理はしないよう一歩一歩進んでいこうと思います。



山崎真之輔プロフィール

- ◆ 36歳三児の父親
- ◆ 浜松北高等学校、名古屋大学法學部卒業
- ◆ 元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- ◆ 浜松市議会議員(2期6年間)
- ◆ 静岡県議会議員(2期目)
- ◆ 所属会派: ふじのくに県民クラブ
- ◆ 所属委員会: 建設委員会委員長
- ◆ 趣味: スポーツ全般、日本舞踊(花柳流)、読書、カラオケ、ボードゲーム

しんのすけ伝言板

● 今年の一般質問は12月になりました。

静岡県議会は、このあと9月定例会～決算審査～12月定例会と進んでいきますが、私の一般質問の出番が12月に決まりました。改選前最後の質問となります。

みなさんの期待に応えられるよう、万全の状態で臨みます!



● 「YORUTOCO」、婚活で大活躍!

ボードゲームを中心とした交流の場創出事業「ヨルトコ」が、婚活の舞台で大活躍しています。先般も、20対20規模の婚活イベントでお手伝いし、カップル誕生に貢献できました! その他にも、色々な事業を行っています。お気軽にお問い合わせくださいね。



<http://www.facebook.com/Yorutoco>

浜松市と静岡県を結ぶ!! 若きカジュアル政治マガジン

静岡県議会議員

山崎しんのすけ 第16号 通信

平成30年8月発行

山崎しんのすけ事務所 | 〒430-0852 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索

本気が違う!!



県知事対談 静岡の未来ビジョン を語りました!

過日、県知事就任3期目の2年目を迎える川勝知事をお迎えし、静岡県の未来について対談を行いました。知事からは、4月に始動した新たな総合計画で掲げた施策を全力で推進するという力強い言葉を頂くとともに、私たちのような若手議員の奮起を激励して下さり、身の引き締まる思いです。

難しい時代ですが、本県の未来に希望を抱き、残された任期を全力で駆け抜けてまいります!



頑張ります! 建設委員長として初采配。



静岡県議会では、各議員が7つに分かれた常任委員会のどれか一つに所属しますが、私の本年度の所属は2年ぶりの建設委員会。しかも、委員長という役職を頂き、去る7月3日には初めての委員会運営を行いました。

中面でも触れていますが、本年度の建設委員会は重要な課題や、県内東部・中部・西部それぞれにトピックスが目白押し。県民生活や地域経済を支える大切な施策を司る建設委員会だけに、1年間、質の高い議論を促して、県政の発展に貢献できるよう頑張ります!

建設委員会TOPIX

～好機も課題も盛りだくさん！～

2年ぶりに復帰した建設委員会の事業内容がてんこ盛りです。例えば、開催が迫ったラグビーW杯の会場となるエコパスタジアムの照明設備改修工事が決まり、東京五輪会場となる伊豆市のアクセス道路の整備などの明るい材料をはじめ、建設産業全体の課題である担い手確保対策、県内東部・中部・西部にかかる地域性のある事業があつたりなど、数えれば切りがないほど。

もちろん予算には限りがありますが、建設委員会の所管事項は、私たちの暮らしに直結した大切な事業ばかりです。この1年間、議論を尽くしつつも素早い事業展開が行われるよう、委員会運営をしっかりと進めていきたいと思います。

全体に関わる重点事業

- 建設産業の担い手確保・生産性向上支援
- 豪雨災害等緊急対策
- 社会資本長寿命化の推進
- 公共交通への自動運転の導入



県西部に関わる重点事業

- 三遠南信自動車道の整備
- 浜松市沿岸域の防潮堤整備
- 遠州灘海浜公園(篠原地区)の野球場構想



県中部に関わる重点事業

- 中部横断自動車道の整備
- 三保松原の景観改善
- クルーズ船誘致による交流人口の拡大



県東部に関わる重点事業

- 伊豆縦貫自動車道の整備
- 沼津駅周辺総合整備
- 伊豆地域における公共交通網の再編



真の目～立ち向かえ!EVシフトの大波に～

100年に一度の転換期と言われる大波がやってきます。

ご存知のように、世界的に進むEV(電気自動車)化や自動運転などの急速な技術革新のことです。本県では、こうした動きに立ち向かうために、産学官連携による研究会を新たに設置したり、都田にある工業技術研究所に試験検査機器を整備したり、さらには自動運転の実証実験を計画したりと、様々な施策を進めていきます。

また、県議会としても超党派の「宇宙航空・先端産業振興推進議員連盟」を設立し、私が幹事長に就任しました!EV化による経済への影響が全国で2番目に大きいと言われる本県であるからこそ、行政も議会も民間も、一致団結してこの大波を乗り越えていきたいですね。

しづおか自動運転 Show CASE プロジェクト ECOPAドリームプロジェクト 発足式



県内の
ブロック塀等を

緊急総点検!



我が会派「ふじのくに県民クラブ」が提出した要望書に答える形で、静岡県では、大阪府北部を震源とする地震の教訓を受け、県内に存在するブロック塀等の緊急総点検を実施しました。対象施設は、小・中学校、高校・特別支援学校、社会福祉施設、警察が所管する施設などの県有施設はもちろんのこと、市町が所有する施設や民有施設についても調査を依頼。

その結果、県内公立の学校施設1,156校のうち、対策が必要な塀等のある学校数が132校(浜松市は202校中4校)、また他の県有施設でも46施設が対策の必要ありという報告(6月末時点)がなされ、今後、立ち入り禁止などの安全対策を施すとともに、速やかに詳細調査を実施し、必要であれば撤去または改修を行っていくことになります。

痛ましい事故を繰り返さないためにも、防災先進県として今一度、命を守る施策の徹底を図っていく必要があります。

今後の県としての対応の仕方

県有施設

県費を投入して必要な対策を講じる。



小・中学校、病院、県庁など

市町有施設

緊急地震・津波対策等交付金で詳細点検等にかかる費用を支援。



図書館、市役所、公園など

民有施設

「TOUKAI-O」事業で撤去・改善にかかる費用を支援。



住宅、企業、工場など



会派マニフェスト

「覚悟」から「Shinka」へ

ふじのくに県民クラブでは、4年前に策定した会派マニフェスト「覚悟」に基づいて、政策提言や様々な活動を行ってまいりました。そしてこの度、「覚悟」の検証結果をご報告するとともに、来期のマニフェスト「Shinka」を現在策定作業中!

この「Shinka」には、「進化・深化・真価」という3つの想いが込められていますが、政策実現サイクルをしっかりと回し、県民の皆様に役立つ会派となるよう、引き続き一丸となって歩んでまいります。

